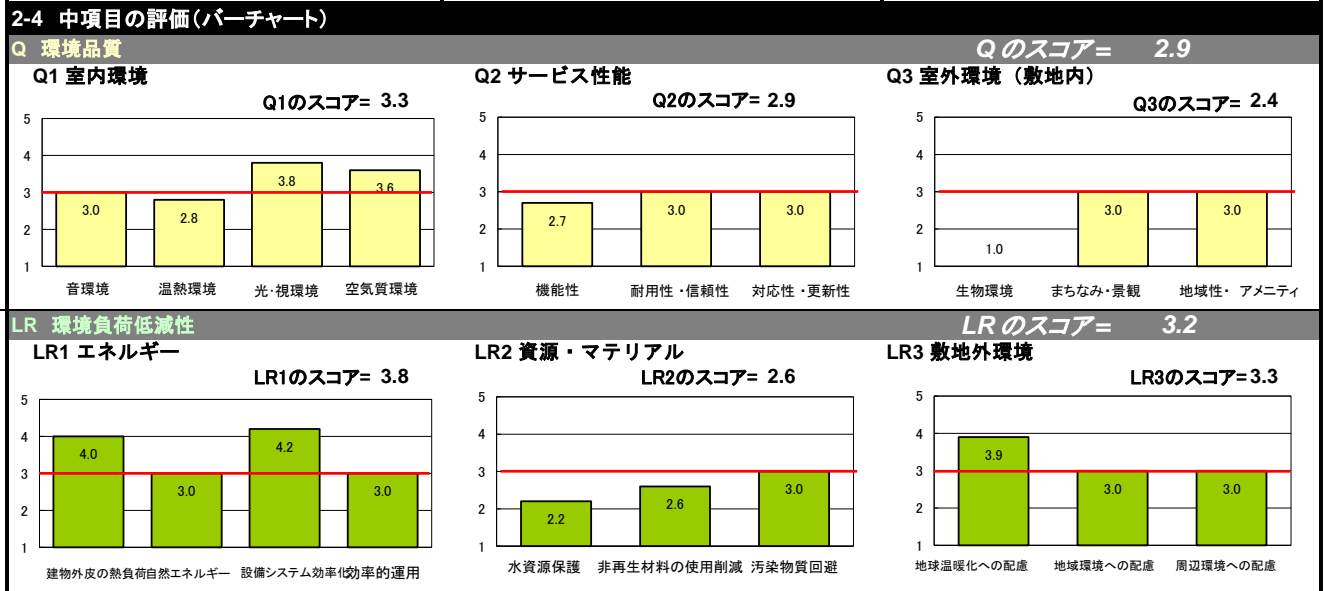
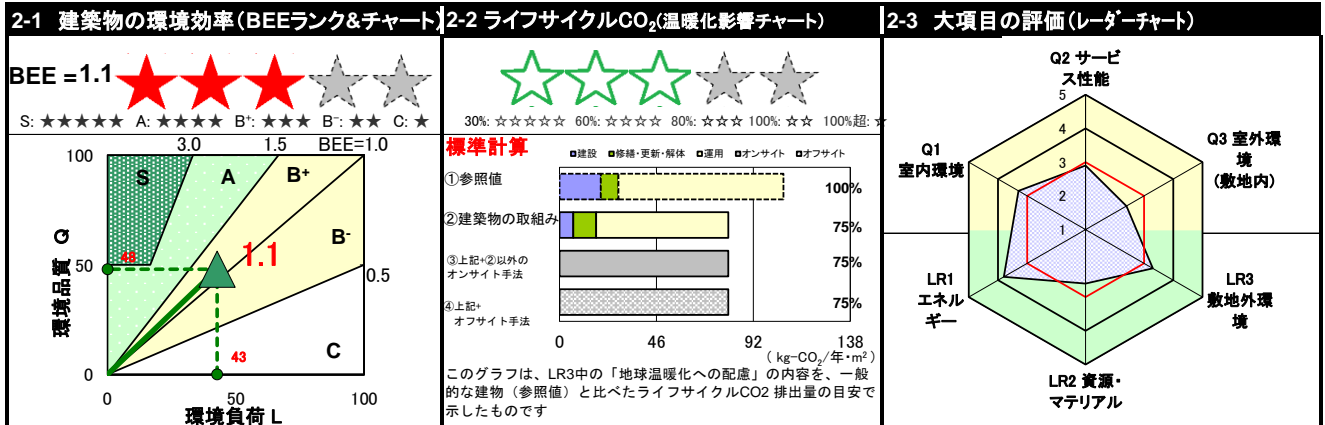


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)横須賀市小川町計画 新築工事	階数	地上17F
建設地	横須賀市小川町10-1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	636 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2017年10月22日
敷地面積	2,406 m ²	作成者	株式会社 光和設計
建築面積	1,234 m ²	確認日	2017年10月22日
延床面積	16,894 m ²	確認者	株式会社 光和設計

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
劣化対策等級3相当の仕様である		
Q1 室内環境 建築基準法を満たしており、かつ建築基準法規制対象外となる建築材料(F☆☆☆☆)を床・壁・天井・天井裏で全て採用している。	Q2 サービス性能 パリアリ-新法の最低限のレベルを満たしている。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー 断熱等性能等級4相当である。 (全住戸が外皮平均熱貫流率: 0.87以下、冷房期の平均日射熱取得率: 2.8以下)	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上材が容易に分別可能	LR3 敷地外環境 躯体材料の耐用年数: 劣化対策等級3相当の仕様である ライフサイクルCO ₂ : 75%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される